

令和5年度霧島市健康・生きがづくり推進協議会 会議要旨

開催日時	令和5年11月16日（木） 16時～17時10分		
開催場所	国分保健センター		
出席委員	吉満委員、河野委員、中尾委員、本村委員、徳永委員、長濱委員、斉藤委員 久保委員、森園委員、槐島委員		
事務局	有村保健福祉部長 【健康増進課】鮫島課長、赤水健康づくり推進グループ長、上小園保健予防グループ長、溝口主査、清水主査、長崎主任主事、藏元主事 【すこやか保健センター】種子島所長、坂口地域保健第2グループ長、大田地域保健第1グループ長 【こども発達サポートセンターあゆみ】重留所長		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0人
<p>議事</p> <p>(1) 健康きりしま 21（第4次）概要について</p> <p>(2) 健康きりしま 21（第4次）各分野の取組について</p> <p>(3) その他</p>			
<p>協議結果等の概要 委：委員 事：事務局</p> <p>(1) 健康きりしま 21（第4次）概要について ⇒ 質問はなし</p> <p>(2) 健康きりしま 21（第4次）各分野の取組について 委員からの主な意見や質問は以下のとおり。</p> <p>委：歯周病の割合が減少した理由とデータ元について ⇒ 事：毎年の事業継続の結果であると予測するが、明確な理由までは分析できていない。 歯周病検診を受診した人の検診結果をもとに把握した数値である。</p> <p>委：子どもの肥満対策について、SNS等を活用した動画等で、保護者と子どもが一緒に見ることができるものを作成することはできないか。 ⇒ 事：動画等は現在のところ作成していない。今年度の計画としては、保育園等に出向き、年長さんに栄養講話を実施することとしている。</p> <p>委：アンケートや検診結果等で割合を算出する場合、未回答者や未受診者の数値は不明なため、算出した数値と実態が異なる場合がある。アンケート回収率や検診受診率をいかに上げていくかの目標等もあって良いのではないか。 ⇒ 事：回収率や受診率が上がり、実態に近い数値となるよう普及啓発に努めていく。</p> <p>委：未達成(D評価、E評価)となっている項目について、何かしらの対策を講じていくことは考えているか。 ⇒ 事：昨年度、未達成の項目を確認した上で今年度からの取組を検討したところであり、今後、計画の各分野における個別目標等に対し、取り組んでいきたいと考えている。</p>			

委：現在協議が進められている「新総合保健センター」と「こども家庭センター」の関連性についてお聞きしたい。

⇒事：こども家庭センターは、令和6年4月1日からの設置に向けて協議中であり、現在のこども・くらし相談センター(にじいろ)と子育て世代包括支援センター(すこやか保健センター)の業務の統合を考えている。新総合保健センターでの業務開始までの間はこれまでどおりの事務所で業務を行い、新総合保健センターが完成した後、令和8年度からは保健センター内で業務を行う予定としている。

委：がん検診の受診率について、県計画の目標値である50%と比較して、かなり低い数値となっているが、数値の捉え方に違いがあるか。

⇒事：県の目標値50%は、国民生活基礎調査を基にした数字であり、市のがん検診受診率は、市で実施する集団検診の受診者数から算出した数値である。会社や医療機関で受診した方の数は含まれていない。

【その他意見】

委：高齢者の中には移動手段がなく、検診を受診したくても受診できない方もおられ、受診者が限られてくる。地域によっては、医療機関が遠い所もあり、行きたくても行けないという状況もある。難しい問題だと思うが、自治体と公民館がうまく結びついていくと受診率も良くなっていくのかなと感じる。

委：健康問題は自殺の原因でも最多であり、市民にとっても重要なことだと思う。にも関わらず検診も受診しないというところでは、市民ももう少し意識を高く持って欲しいと思う。健康問題の解決は自殺者数の減少にもつながると思うので、第4次計画にしっかりと
と
した取組をお願いしたい。

(3) その他
なし

会議資料

【配付資料】

- 令和5年度霧島市健康・生きがいつくり推進協議会資料
- 健康きりしま21(第4次)計画書